

東灘区自立支援協議会 第125回しごと部会 議事録

日時:平成31年2月4日(月)17:30~

場所:うおざき障害者地域生活支援センター

参加者:御影倶楽部(宇野氏)、にじのかけ橋(羽田氏)、あすか(中野氏)、オリンピック住吉(尾上氏)、f(服部氏)、ジンジャークラブほっと(小松氏)、たんぼぼ(三上氏)、すぼるたあと(井上氏)、Combloom(前嶋氏)、エルピス・ワン(大久保氏)、ケアット(岡本氏)、しごとサポート東部(松山氏)、東灘区社会福祉協議会(向井氏)、東灘区役所健康福祉課(福田氏)、ひがしなだ障害者地域生活支援センター(森本氏)、うおざき障害者地域生活支援センター(中村、児玉)

計 17 名

1. マーケットチームより報告

- ・2/18(月)17:30~ 開催します。お忘れのないようにご留意ください。
- ・2/18に3/9 まんまるケっぺい Plus に必要な景品を集めます。
100円相当の景品6個を持参して下さい。
2/18に間に合わない場合は3/4 しごと部会にご持参下さい。
集めた商品はうおざき支援センターから持って行き、商品梱包は、あすかにお願いします。
- ・2/18にまんまるケっぺい Plus のブースの配置と搬入・搬出の時間を決めます。
参加される事業所はお休みのないようお願いします。

2. ひがしなだ美しチームより報告

- ・参加を希望される事業所は、にじのかけ橋 羽田氏までお願いします。
- ・3月には「お疲れ様会」があります。

3. しごとサポート東部より

- ・1月相談件数…69件(就労者数…1件 知的障害 B2 判定 一般就労で最初は短時間から徐々に勤務時間数を増やしていく予定)
新規相談件数…3件
- ・しごと開拓員 岡本氏からメールにて就労の募集案内の送付がありました。
それについての情報の補足(資料①参照)
- ・事業所より質問
就労継続支援 B 型の事業所で清掃の業務をしている。周囲からみても一般就労が可能に思えるし、本人にもその気がある。
こういった場合にしごとサポート東部に相談しても良いだろうか?
→可。
超短時間雇用の場合はしごとサポート西部が応じる場合がある。

4. 協議

・「困り事」

就労移行の監査について

神戸市が実施する監査について、就労実績の根拠をしっかりと確認するようにと国から指導があったらしい。

雇用契約時のコピーを事業所で保管し、さらに 6 ヶ月以上継続して就労出来ている事が証明できる書類(証明できる書類が入手できない場合は、給与明細でも可)の保管も必要になる。

・グループホームの探し方について

進路相談会で相談があった。

現在施設入所中で、グループホームへの引越しを考えている。

住居となるグループホームが見つからないと就職先に雇ってもらえない状況。

探すグループホームの数が多すぎて、1つ1つあたっていくしかないのか…どうしたら良いものだろう。

グループホームの情報を一括して管理している場所は無いだろうか？

→特に無いと思われる。

グループホーム側としても、現在の空状況は伝える事が出来るが、少し先の事となると返答しにくくなっている。部屋を開けておくわけにもいかず、問い合わせのあった後に別の人が連絡があり、即入居が決まってしまう事も多い。

「登録している方から優先的に」という返事を返すところもある。

いまの所、1つ1つあたっていくしかないと思われる。

・サービス等利用計画について

先月、特定相談支援事業所が増えて欲しいという話から引き続き話をする。

→あらためて計画相談の内容や必要性をしごと部会で、確認するのがいいかなと思う。

来月、ひがしなだ支援センター 森本氏から説明をしてもらう事とする。

ひがしなだ支援センター 森本氏より事前にしごと部会 参加事業所に確認したい事として以下の2点、質問があった。

①計画相談が入っていて良かったと思うケースはありますか？

②セルフプランでサービスを利用している人だけれど、計画相談が入ってくれたら、

もっと本人の生活が良くなるのになあと思うケースはありますか？

次回のしごと部会で皆さんからのご意見をお待ちしております。

事業所としては、利用者のセルフプランの情報も、計画相談の情報もあまり持っていない場合があるため他の事業所がどんな状況なのかも知りたい。

と意見があがった。

就労継続支援 B 型の事業所の利用だけよりも、その他にもヘルパーや訪問看護など複数のサービスを使っている人の場合、方向性をまとめるためにも計画相談支援が入っていて会議をしてもらえると嬉しい。

次回のしごと部会で、森本氏より説明をしてもらい、「やっぱり計画相談って良いな、ウチの事業所でも出来ないかな??」と思えるような回に出来たらと思う。

・平成 30 年度の報酬体系が変わって皆さんいかがですか？

見通しとしては、去年より報酬が下がりそうな事業所がいくつかある。

(下がる理由はこれだけではないけれど)

逆に上がりそうな事業所は今のところ無さそう。

NHKの番組で、この件が取り上げられており、事業所内でも利用者から質問がされた事があった。

事業所には工賃が、「時給制」のところと「出来高+売上の分配」、「一律固定給」のところなど様々な形を取っている。

工賃は仕事の売上により割り出されると思うけれど、市から事業所に給付されるお金を利用者さんに分配するのは、NG。

作業によって工賃の差をつける場合は、監査で「差をつける場合は、重要事項説明書に明記した方が良いでしょう」とアドバイスを受けた。

利用者さんの交通費はどうしていますか？

事業所が負担しているところがありますか？

交通費を支給している事業所も他市にはあるみたいだけれど。

交通費を支給するとしたら、出どころを何処にしたらいいのだろう？

神戸市には福祉乗車証があるけれど、もともと東灘区に住んでいて、他区に引っ越しをしたけれど、やっぱり以前からの事業所が良いと電車に乗って頑張って通っている利用者がいる。

大阪府では、事業所から市に請求すると上限額があるが利用者の交通費分が支給される制度があった。

西宮市の場合は、西宮市在住の人が他市の事業所に通う場合、西宮市から利用者に交通費が支給される制度がある。

明石市でも、交通費が市から支給されているという例があった気がする。

神戸市でも問い合わせしてみたら、何か制度があるかもしれない。

神戸市の場合、基本的には福祉乗車証が支給されるので、市バスや市営地下鉄は無料になるが、やはりその他の電車を利用しないと通えない場所に事業所があったり、電車を利用してでもその事業所に通いたいと思う人はいると思う。

5.その他

・つながるプロジェクトについて(資料②、③、④)

現在、ロゴを検討中。2案のデザインを業者に作ってもらい参加者で検討している段階である。

いくつかの事業所では、実際に相談窓口として開けてもらえそうな色よい返事をもらえている。

次回2月の会議の時にロゴを決定出来ればと思っています。

2/21に会議に参加したい方は参加票に記載の上、うおざき支援センター 中村まで送付して下さい。初めての方の参加も歓迎いたします。

・ケアットさんより

ケアットが保有している山荘で、いくつかの事業所が集まって利用者の交流がはかれたらいいなと思っています。

美しい自然の中で、事業所を超えた交流の場を作れたらと企画案を練ったところ、共同募

金から助成金がおりの事となりました。
実施に向けて、皆さんのご意見が聞きたいです。

主旨…色んな事業所の利用者さん同士が交流する。

山歩きやご飯を食べたり等、にぎやかに出来たら良いな。

助成金があるので、参加者の参加費は1日と100円程度でいけると思う。

助成金を使っての企画の実施となるので、どの程度まで募集や案内をしたらいいのか？
→しごと部会という公式の場で募集、案内をするのであれば、区内全事業所に案内を出すことまではしないで大丈夫と思う。

チラシはケアットが作成し、利用者さんの参加に対して所属する職員が同行するか否かはその事業所の判断に任せる事にする。

先着20名様程度の参加者を募集したい。

開催日は週末がいいだろう。

詳細が決まったらまた案内をします。

・「問題行動で悩んでいませんか？ ～誰も傷つけないパニック対応法～」 案内
(資料⑤参照)

・平成30年度 第3回 地域生活チャレンジ研修
「障がいのある方の意思決定支援 ～本人の思い 気づけていますか～」 案内
(資料⑥参照)

★次回のしごと部会は★

日時：平成31年3月4日(月) 17:30～

場所：うおざき障害者地域生活支援センター

※マーケットチーム会議 2月18日 17:30～

3月4日 17:00～となります。

お間違えのないようにお願いいたします。